

義歯(入れ歯)について 知っていますか?

そもそも、義歯(入れ歯)ってどんなものか知っていますか?簡単に説明すると、少しでも天然の歯が残っている場合、その歯を利用して装着されるものを部分床義歯(部分入れ歯)、全ての歯が失われた場合に装着されるのは総義歯(総入れ歯)と言います。義歯についてのよくある悩みとして、緩くなるということがあげられます。その場合、調整や義歯内面の裏打ち(盛り足しや合わせ直しなど)修理を行うことで安定を取り戻すことができますが、症状によっては作り直さなくてはならないようなこともあります。まずは、歯医者にご相談してみてください。緩くなった義歯を使い続けることはお勧めしません。中には市販の「入れ歯安定剤」を用いて使い続けようとなさ

る方もありますが、それは止めて、前述のように、まずは歯医者にご相談することから始めてください。市販の「入れ歯安定剤」を使うと緩みは一応改善されますが、食べかすや雑菌などの汚れもくっつきやすく、歯ぐきに悪影響を与えることがありますので、気軽な使用は控えることを推奨します。

さて、この義歯(入れ歯)ですが役割として

[1] 食事をしやすくする。

[2] 見た目の改善。

口元のしわを内面から押すので、しわが目立たなくなります。

[3] 話しやすくする。

前歯で考えるとわかりやすいですが、歯がないままでは空気が抜け、上手くしゃべれないといったことが生じます。

[4] 残っている歯を守る。

義歯を入れることで、残っている歯にだけ噛む力がかかるのではなく、噛む力を義歯にも分散させることで負担を和らげます。

といったことなどがあげられますが、新しい義歯を入れてすぐは違和感があったりします。

違和感は徐々に薄れていきますが、リハビリ(練習)を行うことで慣れるのを早めることができます。

やわらかいものから徐々に硬いものを食べるようにしていくとか、新聞や雑誌を、声を出して読むといった発声練習を行うなどが一般的です。

新しい靴を履き、いきなり全力疾走をすると靴づれが起りやすいですよね?同じようなものだと考えてください。徐々に慣らしていきましょう。

ただ、勘違いしないでいただきたいのは、「義歯で何でも噛める」とは思わないでください。これは「義足でなんでもできる」と思わないでくださいと同様とご理解ください。

実際の自分の歯ではありませんから限界があります。ですから義歯は食べやすいものと食べにくいものが天然の歯の時よりも顕著になります。とくに苦手なものとしては餅やガムなどの粘着性の強いものや、硬い煎餅、ピーナッツ、古たくあん、などです。

粘着性の強い食べ物を普段は避けていても、正月などには餅を食べる機会が増えると思います。義歯で初めて餅を食べる方は、とくに注意してください。粘着性の高い食品を食べる場合は、食べる前にまず、口に水分を補給し、しっかりと義歯を湿らせるようにしてください。乾燥したプラスチックに餅やガムがくっつきやすいのはイメージできますよね?逆によく濡らしておけばくっつきにくいものかと思えます。

ですから、一口置きにお茶を飲むなどの注意を欠かさないことが大切です。

けれど、いくら湿らせたところで元々の義歯が外れやすかったり、安定が悪かったりすれば、当然、ちょっとした力で外れやすいため、まずは安定する義歯を作っておくことが大事になります。

義歯の安定は、その設計の仕方で大きく変わります。設計は使われる材料の性質によっても変化します。保険外の義歯は、材料の選択肢が多くあり、設計の自由度が高くなるため、多くの種類の義歯が存在します。保険に比べ高額にはなりますが、通常はインプラント一本の治療費かそれ以下の値段で作ることができます。また、義歯

によっては、揺れている歯を固定し、その歯を長持ちさせる効果を狙うものも存在します。安定性の高い義歯、より良い咬み合わせの義歯を求めるのなら、これらの保険適応外の義歯も念頭に入れて、歯医者で相談してみるといいでしょう。

個人差もありますが、安定性が高くなり、より咬みやすい義歯が出来上がる可能性が高くなります。

こうした義歯の治療は『補綴(ほてつ)』という治療の一つになります。

補綴にも学会から認定された専門の先生(専門医)がいます。日本補綴歯科学会の専門医は、福山市に2016年12月3日現在、私を含め、わずか3名しかいません(小児歯科や矯正歯科も、各学会の専門医は意外と少なく片手くらの人数になってしまいます)。

専門医の先生による義歯の治療に興味を持たれた方は、日本補綴歯科学会のホームページから地域の専門医を探しますので、参考にしてください。



KOIKE Dental Clinic



ロビー



カウンセリングルーム



診察室

小池デンタルクリニックは…

- 「一般歯科」ですのでお気軽にお訪ねください。予約診療制をとっています。
- 患者さまのご意向を確認しながら治療を進めます。診療方針として、「歯1本」ではなく、「口の中全体」を1つの単位として治療計画を立ててまいります。
- 患者さまのプライバシーに配慮し、診療室はすべて個室となっています。
- 治療計画などをご説明したり、お悩みをお聞きしたりするためにカウンセリングルームを設けています。



院長 小池 秀行

歯学博士
日本補綴歯科学会専門医

※歯が欠けたり失われたりした場合に、かぶせ物、差し歯、ブリッジ、入れ歯(義歯)、インプラントなどの人工物で補い、機能・審美を回復することを専門とし、学会で認められた歯科医師です。
社団法人日本補綴歯科学会 <http://www.hotetsu.com/p1.html>



LED 照明付歯科用双眼ルーベ
*全スタッフが所持しています。



口腔外
パキューム



LED 无影灯



LED 照明付タービン

使用器材の衛生管理のため、洗浄・消毒に関する国際規格 (ISO15883) に基づいた高度な洗浄・消毒や、高い安全性を追求した滅菌システムを採用しています。



ホルホープ
(ガス滅菌器)



クアトロケア
(自動注油洗浄器)



ステイティム
(高圧蒸気滅菌器)



Lisa
(高圧蒸気滅菌器)



ミーレジェットウォッシャー
(洗浄・消毒器)



ピエソン
マスターサージェリー
(超音波振動外科手術器)



炭酸ガスレーザー



歯科用CT

- 診療内容
- ・ 歯科一般外来
 - ・ 審美
 - ・ インプラント
 - ・ 歯周外科
 - ・ 口腔外科

診察時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00~12:30	●	●	●	-	●	●
午後2:00~6:00	●	●	●	-	●	●

休診日 木曜日・日曜日・祝日 ※祝日のある週は木曜日診療